

VIII 検査課の業務概要

検査課は、「千葉県検査業務運営要領」に基づき、長生保健所、検査課の設置されていない山武保健所及び夷隅保健所の検査業務を行っている。主な業務としては、感染症・食中毒発生時等の健康危機管理検査、臨床検査、腸内細菌検査及び食品検査である。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対応を優先したため、件数が減少した検査もあるが、精度管理事業については計画どおり実施した。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

エイズ対策事業としてH I V抗体検査 105 件、性感染症予防対策として梅毒検査 107 件、ウイルス性肝炎対策としてC型肝炎ウイルス抗体検査 107 件及びB型肝炎ウイルス抗原検査 108 件を実施した。

また、原子爆弾被爆者対策事業に係る健康診断での尿検査を 17 件実施した。

(2) 細菌検査

平常時における感染症対策として、給食施設従事者、食品取扱業者及び水道施設従事者等を対象とした、赤痢菌、チフス菌、パラチフスA菌、サルモネラ属菌及び腸管出血性大腸菌O157等の腸内細菌検査を 5,338 件実施し、サルモネラ属菌 1 件を検出した。

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

食品衛生監視指導を推進するために、長生、山武及び夷隅保健所の管内施設から収去した食品等について、40 検体 297 項目の細菌検査を実施した。

(2) 乳類規格試験

例年は、収去による市販牛乳の乳類規格試験を実施しているが、新型コロナウイルス感染症対応のため中止となった。

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

感染症発生時における原因究明と感染拡大防止のために、患者、接触者等の検査を 3 事案 14 件実施し、菌の検出はなかった。

また、新型コロナウイルス PCR 検査を 266 件実施し、23 件が陽性であった。陽性検体のうち 18 件については、変異株スクリーニング検査を実施した。

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

食中毒及び有症苦情発生時において、原因究明と感染拡大防止のために、食品等の検査を 9 事案 138 検体 2,767 項目実施し、黄色ブドウ球菌 16 件、セレウス菌 3 件、カンピロバクター1件及びノロウイルス 26 件を検出した。

4 精度管理事業

検査結果の信頼性を確保するために、内部精度管理及び外部精度管理を実施し、ともに結果は良好であった。

(1) 内部精度管理として、添加回収試験、繰り返し試験及び陽性対照試験を実施した。

(2) 外部精度管理として、外部の調査機関による精度管理調査に参加した。

1 臨床及び細菌検査業務

(1) 臨床検査

表 1 - (1) 臨床検査実施状況

(単位：件)

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度			
					長生保健所	山武保健所	夷隅保健所	
血液	梅毒	TP 法	102	36	107	57	25	25
		STS 法	102	36	107	57	25	25
	HIV 抗体*		103	37	105	56	24	25
	HCV 抗体		103	37	107	56	26	25
	HBs 抗原		102	36	108	56	27	25
尿	糖		27	17	17	8	6	3
	蛋白		27	17	17	8	6	3
	ウロビリノーゲン		27	17	17	8	6	3
	潜血		27	17	17	8	6	3
便	寄生虫	塗抹鏡検	-	-	-	-	-	-
		ぎょう虫卵	-	-	-	-	-	-

※HIV 抗原を併せて実施

(2) 細菌検査

表 1 - (2) 平常時対策としての腸内細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		計	給食施設 従事者	食品 取扱業者	水道施設 従事者	その他
令和 2 年度		6,021	4,341	416	479	785
令和 3 年度		5,689	4,275	258	493	663
令和 4 年度		5,338	3,977	142	376	843
長生 保健所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・サルモネラ属菌*	1,241	809	26	42	364
	腸管出血性大腸菌 0157	1,249	848	5	42	354
	その他の菌	55	55	-	-	-
山武 保健所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・サルモネラ属菌*	884(1)	663(1)	13	154	54
	腸管出血性大腸菌 0157	915	662	96	86	71
	その他の菌	-	-	-	-	-
夷隅 保健所	赤痢菌・チフス菌・パラチフス A 菌・サルモネラ属菌*	263	233	1	29	-
	腸管出血性大腸菌 0157	731	707	1	23	-
	その他の菌	-	-	-	-	-

※サルモネラ属菌は希望者のみに実施

() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

2 食品衛生検査業務

(1) 食品細菌検査

表 2 - (1) 食品細菌検査実施状況

(単位：件)

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和		
					長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
検 体 数		35	63	40	10	10	20
項 目 数		245	474	297	76	75	146
項目内訳	細菌数（生菌数）	35	63	40	10	10	20
	大腸菌群の有無	35	63	40	10	10	20
	黄色ブドウ球菌	35	63	40	10	10	20
	サルモネラ属菌	35	63	40	10	10	20
	腸炎ビブリオ	-	20	6	4	-	2
	腸炎ビブリオ最確数	-	-	-	-	-	-
	カンピロバクター	-	13	11	2	5	4
	E. coli の有無	-	-	-	-	-	-
	E. coli の最確数	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	35	63	40	10	10	20
	腸管出血性大腸菌 026	35	63	40	10	10	20
	腸管出血性大腸菌 0111	35	63	40	10	10	20
	腸管出血性大腸菌 0103	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0121	-	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌 0145	-	-	-	-	-	-	

(2) 乳類規格試験

表 2 - (2) 乳類規格試験実施状況

(単位：件)

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和		
					長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
検 体 数		-	-	-	-	-	-
項 目 数		-	-	-	-	-	-
項目内訳	細菌数（生菌数）	-	-	-	-	-	-
	大腸菌群の有無	-	-	-	-	-	-
	比重	-	-	-	-	-	-
	酸度	-	-	-	-	-	-
	無脂乳固形分	-	-	-	-	-	-
	乳脂肪分	-	-	-	-	-	-

3 健康危機管理検査業務

(1) 感染症発生に伴う検査

表3- (1) 感染症発生に伴う検査実施状況 (単位：件)

区 分	事 案 数	計	便			その他 (便以外)
			経過者 ・患者	接触者 ・家族	その他	
令和2年度	6	7,062	6	27	-	7,029
令和3年度	10	6,500	27	26	-	6,447
令和4年度	3	280	6	8	-	266
長生保健所	コレラ菌	-	-	-	-	-
	赤痢菌	-	-	-	-	-
	チフス菌	-	-	-	-	-
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	1	4	2	2	-
	腸管出血性大腸菌 01	-	4	2	2	-
	新型コロナウイルス	-	117 (5)	-	-	-
山武保健所	コレラ菌	-	-	-	-	-
	赤痢菌	-	-	-	-	-
	チフス菌	-	-	-	-	-
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	1	2	-	2	-
	腸管出血性大腸菌 0111	1	4	2	2	-
	新型コロナウイルス	-	-	-	-	-
夷隅保健所	コレラ菌	-	-	-	-	-
	赤痢菌	-	-	-	-	-
	チフス菌	-	-	-	-	-
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌 0157	-	-	-	-	-
	新型コロナウイルス	-	149 (18)	-	-	-

() 内は陽性数の再掲：陽性時のみ記載

(2) 食中毒及び苦情食品等の検査

表3-(2)-ア 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

(単位：件)

	区 分		計	食品	便	吐物	ふきとり	その他
	事案数							
令和2年度	5	検体数	71	1	70	-	-	-
		項目数	1,529	20	1,509	-	-	-
令和3年度	3	検体数	27	-	18	-	9	-
		項目数	557	-	377	-	180	-
令和4年度	9	検体数	138	10	84	-	44	-
		項目数	2,767	200	1,687	-	880	-
項目内訳	コレラ菌		134	10	80	-	44	-
	赤痢菌		134	10	80	-	44	-
	チフス菌		134	10	80	-	44	-
	パラチフスA菌		134	10	80	-	44	-
	腸炎ビブリオ		134	10	80	-	44	-
	NAGビブリオ		134	10	80	-	44	-
	ビブリオ ミミクス		134	10	80	-	44	-
	ビブリオ フルビアリス		134	10	80	-	44	-
	黄色ブドウ球菌		134	10	80	-	44	-
	サルモネラ属菌		134	10	80	-	44	-
	セレウス菌		134	10	80	-	44	-
	ウエルシュ菌		134	10	80	-	44	-
	カンピロバクター		135	10	81	-	44	-
	エルシニア エンテロコリチカ		134	10	80	-	44	-
	エロモナス フィドロフィア		134	10	80	-	44	-
	エロモナス ソブリア		134	10	80	-	44	-
	プレジオモナス シゲロイデス		134	10	80	-	44	-
	下痢原性大腸菌		134	10	80	-	44	-
	腸管出血性大腸菌 0157		135	10	81	-	44	-
	腸管出血性大腸菌 026		134	10	80	-	44	-
	ノロウイルス		75	-	75	-	-	-
	ロタウイルス		5	-	5	-	-	-
	アデノウイルス		5	-	5	-	-	-
	大腸菌群		-	-	-	-	-	-
	細菌数(生菌数)		-	-	-	-	-	-
	その他 ()		-	-	-	-	-	-
検出菌等内訳	黄色ブドウ球菌		16	2	14	-	-	-
	セレウス菌		3	3	-	-	-	-
	カンピロバクター		1	-	1	-	-	-
	ノロウイルス		26	-	26	-	-	-

表3-(2)-イ 食中毒及び苦情食品等の検査実施状況(当年度保健所別・再掲)

(単位:件)

項 目		長生保健所	山武保健所	夷隅保健所
コレラ菌		64	38	32
赤痢菌		64	38	32
チフス菌		64	38	32
パラチフス A 菌		64	38	32
腸炎ビブリオ		64	38	32
NAG ビブリオ		64	38	32
ビブリオ ミミクス		64	38	32
ビブリオ フルビアリス		64	38	32
黄色ブドウ球菌		64	38	32
サルモネラ属菌		64	38	32
セレウス菌		64	38	32
ウエルシュ菌		64	38	32
カンピロバクター		65	38	32
エルシニア エンテロコリチカ		64	38	32
エロモナス フィドロフィア		64	38	32
エロモナス ソブリア		64	38	32
プレジオモナス シゲロイデス		64	38	32
下痢原性大腸菌		64	38	32
腸管出血性大腸菌 0157		64	39	32
腸管出血性大腸菌 026		64	38	32
ノロウイルス		31	20	24
ロタウイルス		-	-	5
アデノウイルス		-	-	5
大腸菌群		-	-	-
細菌数(生菌数)		-	-	-
その他 ()		-	-	-
合 計		1,312	781	674
検 出 菌 等 内 訳	黄色ブドウ球菌	3	11	2
	セレウス菌	1	2	-
	カンピロバクター	-	1	-
	ノロウイルス	17	-	9

4 精度管理事業

(1) 内部精度管理

表4－(1) 内部精度管理実施状況

項 目		実施回数
添加回収試験	細菌数（生菌数）	18
繰り返し試験	細菌数（生菌数）	9
	牛乳理化学	4
陽性対照※	腸管出血性大腸菌 0157	5
	腸管出血性大腸菌 026	5
	腸管出血性大腸菌 0111	5
	腸管出血性大腸菌 0103	—
	腸管出血性大腸菌 0121	—
	腸管出血性大腸菌 0145	—
	黄色ブドウ球菌	6
	セレウス菌	—
	大腸菌	8
	サルモネラ	6
	腸炎ビブリオ	2

※精度管理用菌株の使用回数を計上

(2) 外部精度管理

表4－(2) 外部精度管理実施状況

外部精度管理調査機関	調査項目
一般財団法人食品薬品安全センター	大腸菌群 一般細菌数 黄色ブドウ球菌 E. coli サルモネラ属菌 腸内細菌科菌群
千葉県衛生研究所	腸管出血性大腸菌の血清型（O抗原） ノロウイルス（リアルタイムPCR法）
厚生労働省（委託先；日本臨床検査標準協議会 遺伝子関連検査標準化専門委員会）	新型コロナウイルス（リアルタイムPCR法）
厚生労働省（委託先；国立感染症研究所）	新型コロナウイルス（リアルタイムPCR法）
（一財）食品薬品安全センター（調査研究）	一般細菌数

